

箴言 4 (第5章)

2018/03/28 聖書研究会

1. 【箴言全体に響く中心的メッセージ】

「1:7 主を畏れることは知恵の初め。」

2. 注解書によれば、この章は結婚の祝福を語り、それ以外の誘惑を退けるように勧告している。

「5:3 よその女の唇は蜜を滴らせ／その口は油よりも滑らかだ。

4 だがやがて、苦よもぎよりも苦くなり／両刃の剣のように鋭くなる。……」

・誘惑に乗ることの危険。人生の破滅に至る。

6 「人生の道のり」これは意識。直訳は「命の道」。

9 「長寿」これも意識。直訳は「年(々) years」。

3. 忠告に従わなかったことへの後悔と嘆き

「5:11 さもなければ後になって／肉も筋も消耗し、あなたは呻き 12 言わなければならない。

『どうして、わたしの心は諭しを憎み／懲らしめをないがしろにしたのだろうか。

13 教えてくれる人の声に聞き従わず／導いてくれる人の声に耳を向けなかった。』」

・唐の第2代皇帝 太宗(李世民)は魏徴を諫議大夫とし、数々の諫言・直言を受け入れたという。「貞観の治」

4. あなた自身の井戸から

「5:15 あなた自身の井戸から水を汲み／あなた自身の泉から湧く水を飲め。」

・これは結婚のよき交流を意味しているという。「あなた自身の……」とは配偶者のこと。

・ただしこれを広く主イエスの言葉につなげると、視野が新しく開ける気がする。

「4:14 しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渴かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。」ヨハネ福音書

・主イエスはわたしの中に泉を開いてくださる。

イザヤ12:3 「あなたたちは喜びのうちに／救いの泉から水を汲む。」